

哲学思想基本研究Ⅱ(その2)

2単位 2年(後期)

石田三千雄・教授/人間文化学科

【授業目的】カントの『人倫の形而上学』を読んで、カントの法についての基本的な考え方を学ぶ。

【授業概要】カントの「人倫の形而上学」の体系は法論と徳論から成る。法と徳はどのように区別され、またどのように関連するのであろうか。また法の強制力とは何であり、徳の義務とは何であらうか。これらをカントの『人倫の形而上学』を読むことによって考えてみたい。

【キーワード】カント、徳、義務

【関連科目】『哲学思想基本研究Ⅰ(その2)』(0.5)、『哲学思想基本研究Ⅲ(その2)』(0.5)

【履修上の注意】演習形式で授業を進めるので、演習時間毎に予習が不可欠である。学生諸君の積極的な参加と準備・議論を期待する。

【到達目標】カントの国家法や国際法といった法的概念について自分で考え、討論することができる。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 2～3 国家法について(1):公民的状态, 国家
3. 4～5 国家法について(2):国家の三権力
4. 6～7 国家法について(3):支配者と国民
5. 8～9 国家法について(4):刑罰権と恩赦権
6. 10～11 国家法について(5):国家形式
7. 12～13 国際法について(1):自然状態と戦争
8. 14～15 国際法について(2):戦争と平和
9. 16 総括授業

【成績評価】毎回の出席状況, 議論状況を基本に評価し, 学期末にレポートを課す。

【再試験】行わない。

【教科書】授業の時に資料を配付する。

【参考書】『世界の名著 32 カント』中央公論社

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218882>

【連絡先】

⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィス
アワー: 水曜日 14時～15時)

【備考】隔年開講, 本年度開講せず。